

事例 7 学級活動（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
「ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成」の事例

○学年	第1学年
○主な内容	SNSで相手のことを考えた使い方の指導
○事例のポイント	①生徒の実態に即した授業展開にするために事前アンケートを活用する。 ②アンケート結果と映像資料からSNSで起こりうるトラブルの原因を小グループで話し合う場を設定する。 ③生徒自ら目標を意思決定できるようICTを活用して、学級全体の考えを共有する。

ICTを活用した主な学習場面	実態把握のためのアンケート結果提示の場面
	映像資料をもとにした原因追求の場面
	話し合った意見を共有する場面

ICT活用の利点

- ①資料をモニターで表示し、共有することで実態や現状を理解することができる。
- ②フリーボードを活用することで、多様な考えを把握し、意思決定の参考にすることができる。

1 題材 「SNSとの付き合い方 ～相手のことを考えて～」

2 生徒の実態と題材設定の理由

本学級の生徒は、学級での所属感を高めるために班での役割や係活動などを充実させ、よりよい人間関係を形成しようとする様子が見られる。ICT端末を活用する場面では、小学校での経験もあり、ほとんどの生徒が基本的な操作方法を身に付けており、生徒自身の力で動画編集や問題作成などに取り組んでいる。家庭でのICT端末等の活用に関して、アンケートを実施したところ、SNSの利用率が高く、写真や動画の投稿、コメントへの返信などの活用が多く、多くの生徒が自由に活用できる状況にあることが分かった。

本題材は、生徒のSNSの利用状況を踏まえ、年間指導計画に位置付けてある題材である。学級活動（2）「ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成」に関わり、家庭や学校での約束やルールを守りながら、他者とよりよい人間関係を安心・安全に形成できるようにすることをねらいとしている。

指導に当たっては、生徒が自分自身のSNS利用を振り返るとともに、アンケート結果や動画資料の活用し、相手の立場に配慮した自己の言動について振り返るなど、適切に意思決定できるようにしたい。さらに授業の様子を保護者に伝え、家庭における利用上の約束等を見直す契機としたい。

本授業以外においても、人間関係によるトラブルも危惧されることから情報モラルやデジタルタトゥーに触れて機会を見て、繰り返し指導をしていきたい。

3 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。 適切な意思決定を行い実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見いだしている。 多様な意見をもとに自ら意思決定して実践している。	他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとしている。 他者と協働して自己の生活上の課題解決に向けて、見通しをもったり振り返ったりしながら、悩みや葛藤を乗り越え取り組もうとしている。 自他の健康で安全な生活を構築しようとしている。

4 事前の指導

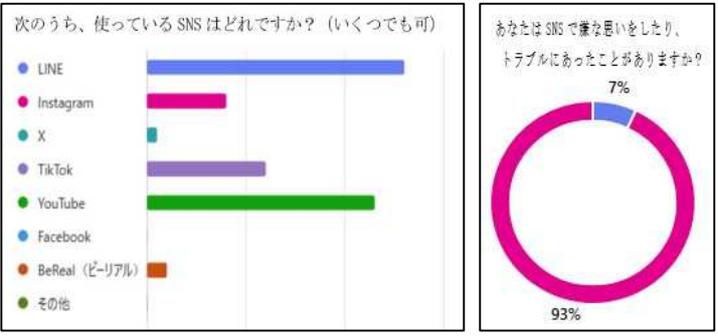
生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
<ul style="list-style-type: none"> ・題材を知る。 ・アンケートアプリ (Forms) を回答する。 <p>編 P186 指導計画作成の留意事項 (4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題意識を高められるよう、事前に予告しておく。 ・アンケートは保護者とともに回答できるよう、事前に配布し、実態を把握する。 	<p>◎アンケートを通して、これまでの自分のICT端末等の使い方や、SNSを通しての友達や家族との関わり方を振り返り、よりよい人間関係を築こうとしている。【態】(アンケート)</p>
<p>「SNSの使い方に関するアンケート」(学級実施)</p> <p>【 質問内容 】</p> <p>①自分自身で自由に使えるパソコンや携帯電話、タブレットを持っていますか(学校で貸し出されているタブレットは含まない) (持っている83% 持っていない17%)</p> <p>②あなたはSNSを利用していますか (利用している86% 使っていない14%)</p> <p>③(「利用している」と答えた場合)利用しているSNSを教えてください(複数回答可) (LINE100% Instagram33% X(旧Twitter)4% TikTok50% YouTube96% Facebook0% BeReal8%等)</p> <p>④利用しているSNSに投稿したことがありますか (ある42% ない58%)</p> <p>⑤(「ある」と答えた場合)投稿したことのSNSを教えてください (LINE40% Instagram50% TikTok10% Youtube10% BeReal20%等) ※LINEにおいては、タイムライン等の投稿機能のこと</p> <p>⑥SNSを使うときに気を付けていることは何ですか(複数回答可) (悪口や相手が嫌な気持ちになることを送らない73%/個人情報をのせない90%/知らない人とやりとりをしない80%/親に使い方を話してから使う53%/投稿の内容を考えて使う47%等/その他「投稿しないこと/使う時間を決めて使う等」)</p> <p>⑦SNSで嫌な思いやトラブルにあったことはありますか (ある7% ない93%)</p> <p>⑧(「ある」と答えた場合)具体的にどのようなことがあったか教えてください。(複数回答可) (悪口を書かれた・言われた50%/個人情報が流出された100%/誤解された50%/仲間外れをされた50%等)</p> <p>⑨嫌な思いやトラブルにあわないようにするためにどのようなことに気を付けていますか(記述) (個人情報を載せないようにする/返信の内容を確認する/相手を思いやる/ルールを決める等)</p> <p>⑩SNSの便利なところはありますか(記述) (調べたいことを詳しく知ることができる/友達と繋がることができる/連絡が簡単にできる/会わなくても会話をすることができる/情報をすぐに手に入れることができる等)</p> <p>⑪自分の生活からSNSがなくなるとどのようなことを感じますか(記述) (友達や親と連絡が取れなくなり、不便になる/生活がしづらくなる/調べたいことや情報が簡単に手に入れることが難しくなる/楽しさを新しい方法で考えそう等)</p>		
<p>事例のポイント① 「埼玉県児童生徒におけるスマートフォン等の利用状況等に関する調査」を参考にしている。</p>		

5 本時の指導

(1) ねらい

I C T端末等とS N Sの利用について、振り返り、S N S等の利用に関する問題点を理解するとともに自己の生活の向上を目指し、目標を意思決定し、粘り強く実践できるようにする。

(2) 展開

	生徒の活動	指導上の留意点	資料	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
問題の把握(つかむ) 5分	1 今の自分たちのI C T端末の使い方やS N Sとの付き合い方について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果をモニターで可視化して、共有する。 アンケートの結果を提示し、自分の使い方や付き合い方を共有できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器(Forms)を活用したアンケート集計結果 	
	<p>【アンケートを見た生徒の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> S N Sを利用している人が多い。 S N Sは便利なおことが多く生活に欠かせないものになっている。 トラブルに遭った人がクラスにもいるので、驚いた。 	<p>ICT活用の利点①</p>	<p>事前アンケートの結果</p> 	
原因の追求(さぐる) 1	2 アンケート結果や映像資料をもとに、S N Sではなぜトラブルが起きてしまうのか原因について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 必要な部分を抜き出して動画を表示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラル教育サポートの動画 	
	<p>事例のポイント①</p> <p>アンケートを提示し、S N Sの光と影の両面について考えられるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題を提示し、学習内容と流れを確認し、最後に自分のめあてを決めることを意識することができるようにする。 	<p>相手の立場を考えて、S N Sと上手な付き合い方を考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> S N Sは簡単に連絡ができるのでとても便利です。でも、誰とでもつながることができるからトラブルに巻き込まれる危険もあります。

原因の追求 (さぐる) 15分

ICT活用の利点②

・グループで話し合った内容を情報共有アプリ (フリーボード) でまとめ、共有するよう指示をする。

編 P186
作成の留意事項(2)



事例のポイント②
小集団で行い、互いの考えを聞き合えるようにする。

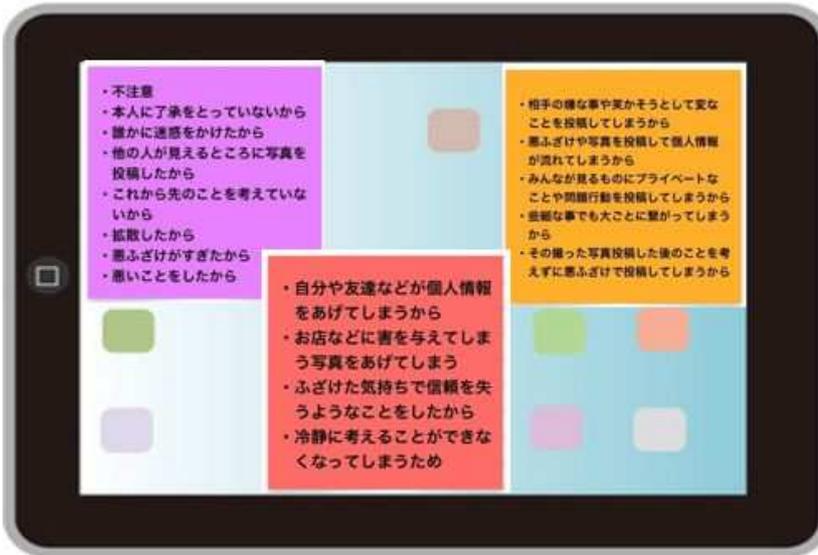
出典：文部科学省/mextchannel 「教材⑩軽はずみな SNS への投稿」(導入編)
「教材⑥写真や動画流出する怖さを知ろう」(導入編)

※一部加工して掲載

- ①トーク画面に誹謗中傷やプライバシー侵害の画像を送るシーン
- ②店員が商品を使って不適切な画像をSNSに投稿するシーン

情報共有アプリ (フリーボード) の画面

「どうして、トラブルに巻き込まれてしまったのでしょうか。」



投稿した人も悪いこととは思っていたと思う。それでも、やってしまうのは、目立ちたいからかな。



解決策 (見つける) 20分

3 トラブルを起こさないようにするにはどうしたらよいかを解説動画を見て、話し合う。

・具体的な解決方法を考えられるように、SNS投稿の危険性についての解説動画を提示する。

・SNSを使用していない生徒においては、学校で使用しているタブレットをもとに考えるよう指示をする。

・グループで話し合った内容を情報共有アプリ (フリーボード) でまとめ、共有するよう指示をする。

編 P186
指導計画作成の留意事項 (5)

インターネットを適切に活用するために

周りの人や将来に及ぼす影響を考える

公開性 記録性などのインターネットの特性を理解する

出典：文部科学省/mextchannel 「教材⑩軽はずみな SNS への投稿」(解説編)

被害者にならないために

恥ずかしい写真や動画は撮らせない 送らない

写真や動画、個人情報を SNS等で知り合った人に送ることの危険性を理解する

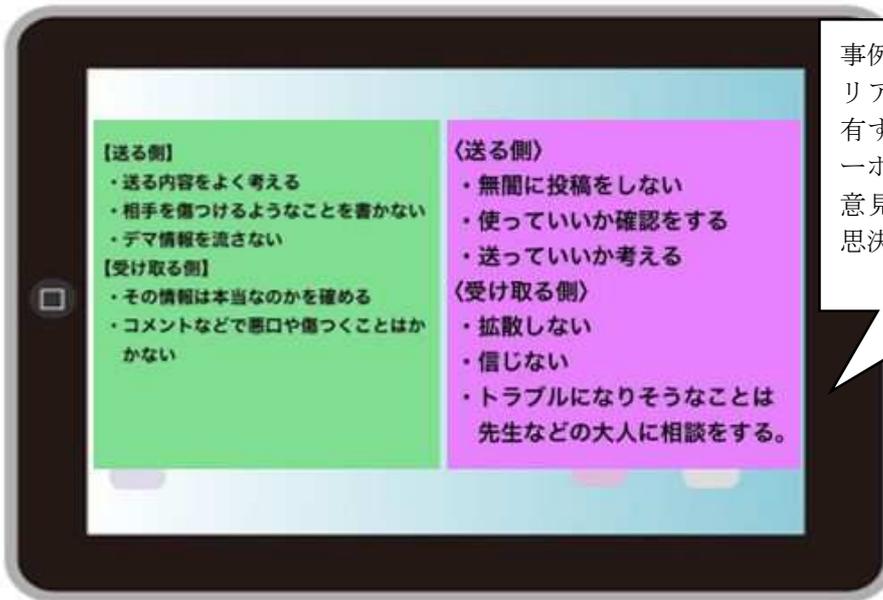
出典：文部科学省/mextchannel 「教材⑥写真や動画流出する怖さを知ろう」(解説編)

- ・ 情報を送る側、受け取る側の立場に立って考えるように指示をする。
- ・ 生徒の考えをまとめるだけでなく、個人目標を決める際の参考となるよう、具体的な解決法を教師からも提示する。

今は、投稿したくないけど、これから使う機会があったら、周りの人への配慮を忘れないようにしたい。



情報共有アプリ（フリーボード）の画面



事例のポイント③
リアルタイムで意見を共有することのできるフリーボードでまとめ、多様な意見を共有することで意思決定できるようにする。

※クラス全体の一部掲載

個人目標の意思決定（決める）
10分

4 話し合ったことを参考に今後のSNSとの付き合い方について考え、行動目標を決める。

- ・ 他者の意見やグループでまとめた内容を参考にしながら、個々が実現できる取組を決めて学習カードに記入できるように助言する。
- ・ SNSとの安易な付き合い方で相手を傷つけることや取返しのつかないことに発展することを伝える。

・学習カード

◎自分の課題に合った具体的な目標や実践方法を決めている。
【思・判・表】
(学習カード)

6 事後の指導

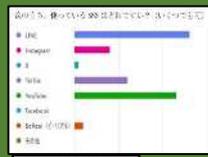
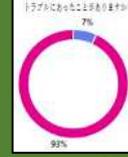
生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
<ul style="list-style-type: none"> 自分が決めた取組を実践し、学習カードに記入する。 継続的な実践の中での気づきの発表や新たな課題に対する実践をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 取組を確認し合う場を設け、お互いの実践を認め励まし、継続的に取り組めるようにする。 学級通信を通して、生徒が保護者とSNSの使い方に関して話し合うよう依頼する。 	◎自分が決めた取組を実践しようとしている。 【態】(観察・学習カード) 編 P186 指導計画作成の留意事項(4)

7 板書計画

SNSとの付き合い方～相手のことも考えて

つかむ

アンケート結果より

- ・SNS を使っている人が多数
- ・SNS は便利 (新しい情報がすぐに)
- ・親や友達と連絡がすぐに見える
- ・心身の不調が起きる原因にもなる
- ・事件に巻き込まれることもある

さぐる

どうしてトラブルが起こるのか?



写真・動画の流出

- ・自分のことしか考えていない。
- ・友達しか見ていないと思っている。
- ・仲良くなりたいと思っている

不適切な写真の投稿

- ・世界中の人が見ているという意識が無い。
- ・自分は絶対に大丈夫だという自信があった。
- ・目立って、フォロワー数を増やしたい。

目の前に人がいる感覚がない

見つける

トラブルが起きないようにするためには?

情報を送る側

- ・誤解を招く表現には気を付ける。
- ・相手の立場を考える。
- ・送信・投稿する際には、その人の顔尾を思い浮かべる。
- ・世界の人が見ているという意識をもつ

情報を受け取る側

- ・全てを受け入れない。
- ・絶対と決めつけない。疑いの気持ちをもっておく
- ・困ったら一人で悩まない。

想像力をはたらかせる

被害者にならないために

恥ずかしい写真や動画は
撮らせない 送らない

写真や動画、個人情報を
SNS等で知り合った人に送ることの
危険性を理解する

インターネットを適切に活用するために

周りの人や将来に及ぼす影響を考える

公開性 記録性などの
インターネットの特性を理解する

決める

絶対に写真や個人が特定されるものは送信しない。必ず、見直す。

「つかむ」「さぐる」「見つける」「決める」の流れを表示するとともに、思考の整理ができるような板書の工夫が大切である。

SNSとの付き合い方 ～相手のことを考えて～

1年5組 番

アンケート結果をみて自分が考えたことは？

- ・SNSを使っている人が多くいる。生活に欠かせないものになっている。
- ・新しい情報が"手"に入っていて便利

なぜトラブルが起きる？

- ・相手のことを考えていない。
- ・友達にしか見られていない気持ちがあるから。

トラブルが起きないようにするためには？

◆情報を送る側◆

- ・個人情報を書き載せない。
- ・送っておくものかを考える。

◇情報を受け取る側◇

- ・信じすぎない←疑心
- ・大人の人に相談する。

★今日の授業を受けて★

【私のSNSの利用3箇条】

★第1条★

相手の立場に立って時間などを考えて送る。

★第2条★

まちがった情報を友達に送ったり、投稿したりしない。

★第3条★

投稿するときには再度確認をしてから投稿する。

実現可能な目標となるよう、5W1Hを意識して書くよう指示をする。

☆1週間の取り組みを振り返って、自分が意識したことや変わったことは？☆

相手がいることを考えながら、メッセージを送ったり、投稿しました。

時間や場所、どのような内容かを考えて生活できるようになりました。

9 指導上の留意点

- 本実践は学級活動「(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成」に係る内容であり、学校で作成する年間指導計画に基づいて、指導している。各学年の発達の段階に応じて系統的に指導できるよう年間計画の見直しを年度末に行っている。
- 授業に向けた生徒の問題意識を高めるため、事前に題材を提示したりアンケートを実施したりすることで、意識の向上が期待できる。題材によっては、学級活動委員と協力してアンケートを集約したり資料を作成したりすることも考えられる。
- アンケート結果を表示する際には、個人が特定されないよう、取扱いに十分配慮した。
- アンケートの結果の活用については、限られた時間の中で実態を確認できるように、共通の課題と思われる質問に絞って取り上げた。
- 携帯電話やスマートフォンを所持していない生徒やSNSを利用していない生徒については、学校で使用しているタブレットのチャットやメール機能について考えたり、今後の生活での利用を想定したりして、自分事として捉えられるよう指導した。

※SNSの利用に関する指導においては、以下の資料が参考になる。

情報モラル教育ポータルサイト

<https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/moral/>

- 以下のような情報拡散を体感する活動を授業内で行う方法も考えられる。

【情報拡散体験の内容】

- ①教師が4枚の色紙を4人の生徒に渡す。
- ②色紙をもらった生徒は自分の色紙がなくなる限り多くの人に色紙を切って渡す。
- ③色紙をもらった生徒も自分の色紙がなくなる限り多くの人に色紙を切って渡す。
- ④これを繰り返す。
- ⑤1分経ったら、自分が何枚の色紙を持っているかを数える。